

Service News

【サービス・ニュース】

新聞コーナーがさらに充実!

4月より、これまでの35紙に下記の2紙が新たに加わりました。

『日本農業新聞』

日本農業新聞 (保存期間:3年) 国内唯一の農業専門の日刊紙。農業や経営に役立つ記事のほか、消費の動向や食材、生活情報、海外の農業に関する記事などの多様な情報を掲載しています。



『フジサンケイビジネスアイ』

日本工業新聞社 (保存期間:3年) 日刊総合経済紙。アジア・新興国の最新経済情報・ビジネス事情が充実。また、世界的な大手情報メディア企業「ブルームバーグ」による世界経済ニュースや中国メディアの新鮮なニュースがいち早く日本語で読めます。



5月のデータベース講座のご案内

日比谷データベース講座VOL.13 「日経テレコン21」

5月11日(水) 12:15~13:15/18:30~19:30 ※講座内容は各回とも同じです

■ 場所:2階図書フロアカウンター前 ■ 参加費:無料 事前申し込みは不要、当日は直接会場へお越しください

文化庁で国語施策に携わる講師を迎え、一般の社会生活における漢字使用の目安である「常用漢字表」の歴史や必要性、改訂過程などについて、専門的な内容も交えながらお話いただきました。後半、2月末に発表されたばかりの字体・字形の新指針について解説があり、「ニュースでは伝わりきらない詳しい話を聞くことができた」、「普段意識せずに使っていた漢字のことを改めて考えてみたい」という声が多く聞かれました。

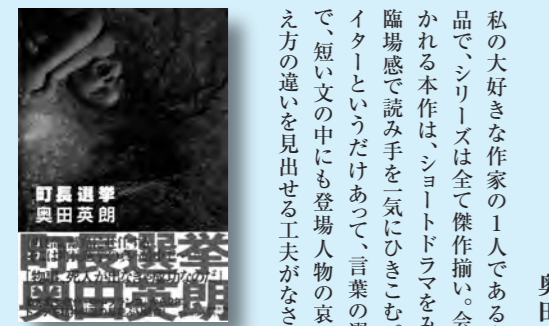


2Fホールでは関連資料を集めた展示も行いました。

情報化時代に考えたい漢字の話

講師:武田 康宏 文化庁文化語部国語課 国語調査官

3/30(水)



文藝春秋 / 2006年

この本は、ぶっただ精神科医・伊良部一郎シリーズの第三弾。彼のもとを訪れる、現代の病におかされた脳みそ患者達の物語。

『町長選挙』

奥田英朗 著

わたしの一冊

当館スタッフの推薦本をご紹介します。おすすめする図書フロア宮本 祐子

3Fホール 日比谷カレッジ

展示 PICK UP! 「絵本カバーでエコバッグ」関連展示

5月17日(火)に開催する日比谷カレッジ『絵本カバーで作るエコバッグワークショップと絵本の「出版流通」の話』に関連した展示です。レオ・レオニの絵本カバーで作成したエコバッグを中心に、当館が所蔵しているアートとして楽しめる絵本の紹介や、絵本の出版、流通に関する本を紹介しします。



■協力:好学社

日比谷データベース講座 VOL.12 「OECD iLibraryで調べる国際統計」

講師:高橋 しのぶ (OECD 東京センター) OECDとはどんな組織なのか、また、どのようなデータを収集しているのかについて説明があり、実際に館内で利用できるOECD iLibraryを画面で見ながら使用方法やビジネスに生かせる活用方法を学びました。



専門図書館への入口講座 第3回 「災害情報へのアプローチ」~防災専門図書館~

高低差に着目した日比谷図書文化館から防災専門図書館への道案内や、「大地震が起こったらどこに逃げればいいのか?」という模擬レファレンスにより、身近なテーマを考えながら防災専門図書館の専門性について知ることができました。

専門図書館への入口講座 第4回 「統計データの調べ方入門」~総務省 統計図書館~

前半は統計図書館と統計資料館、後半はネット上で公開されているe-Statやスマートフォン用アプリのご紹介で新旧さまざまな統計データがあることを学びました。小学生からビジネスパーソンまで、幅広い参加者が集まりました。

5月の展示情報

1F受付横 「みどりの月間」「みどりの感謝祭」関連展示(〜5/15) NEW!

2Fパープルゾーン 「究極の安らぎ? - 風呂・トイレ」関連展示(〜5/13) 風呂やトイレについて私たちが抱くイメージは、リラックスする場所、孤独な場所など、実に様々です。今回は、そんな風呂やトイレに関する資料を集め、ご紹介します。

特別展「シンデレラの世界展」関連展示 NEW! 「おとぎばなしとサクセスストーリー」(三角台、〜6/22)

3Fブルーゾーン&ガラスケース 「此広い世界の劇場~シェイクスピア展~」(〜8/12) NEW! シェイクスピアがこの世の舞台を去ってからちょうど400年。その後の演劇がどのように進化・発展していったのか、比較文化の観点から世界の劇場を通して紹介する展示です。

3Fグリーンゾーン 「元気白書」(〜6/17) 身体や心が元気になるヒントを与えてくれる本、現代病や最先端医療に関する本、元気が足りない時に読みたい本など、肉体的な「健康」だけでなく多角的な視点から展示を行います。

特別展 千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

かわたまさなお コレクション

シンデレラの世界展

~アメリカに渡ったシンデレラ・ストーリー~

4/23(土)~6/22(水) ※5/17(火)より一部作品の展示替えあり。

ヨーロッパからアメリカに渡ったシンデレラ物語はアメリカンドリームを体現する物語として19世紀アメリカで絵本出版ブームを迎えました。本展では19世紀から20世紀中頃にかけてアメリカで出版されたシンデレラの絵本を中心に日比谷でしか見られないシンデレラの世界の貴重なコレクションを紹介します。



McLoughlin Bros. 社版「シンデレラ」(1897年)部分

CINDERELLA

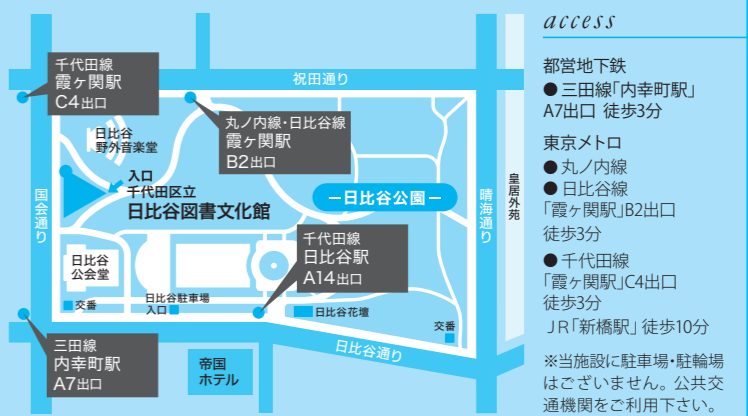
- ◆ アメリカ児童文学の夜明け(19世紀) ◆ アメリカンドリームとシンデレラストーリー
- ◆ 広がる児童書マーケット(20世紀初頭) ◆ マクロリン・ブラザーズ社 -アメリカ絵本出版社の草分け
- ◆ ジャズ・エイジのシンデレラ(1920年代) ◆ 世界恐慌とシンデレラ・ドリーム(1930年代) ◆ 撮影コーナー「あなたもシンデレラに!」
- ◆ 第二次大戦の終結とベビーブーム(1946-64年)

▷会期:2016年4月23日(土)~6月22日(水) ※休館日 5月16日(月)、6月20日(月)▷観覧時間:平日10:00~20:00、土曜10:00~19:00、日祝10:00~17:00(入室は閉室の30分前まで)▷会場:千代田区立日比谷図書文化館 1階特別展示室▷観覧料:一般300円、大学・高校生200円 千代田区民・中学生以下、障害者手帳をお持ちの方および付き添いの方1名は無料 ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳をお持ちください。▷主催:千代田区立日比谷図書文化館▷特別協力:株式会社アトランスチャーチ▷協力:文化服装学院(再現ドレス制作)▷監修:馬場 聡(日本女子大学英文学 准教授)

calendar 開館時間:平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

| 2016年5月 | | | | | | | 2016年6月 | | | | | | |
|---------|----|----|----|----|----|----|---------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 29 | 30 | 31 | | | | | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp



access 都営地下鉄 ●三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分 東京メトロ ●丸ノ内線 ●日比谷線 「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分 ●千代田線 「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分 JR「新橋駅」徒歩10分 ※当施設に駐車場・駐輪場はありません。公共交通機関をご利用下さい。

5・6月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

5/6 (金) 千代田区民講座 文化は国境を越える～映画「サンマとカタール」ができるまで～

講師：益田 祐美子 (映画・コンテンツ製作プロデューサー、株式会社平成プロジェクト代表取締役)

かつて漁業で栄えたカタール国は、東日本大震災直後に基金を設け、宮城県的女川町に津波対策を施した冷凍冷蔵施設を建設しました。女川はサンマの水揚げで有名な町で、その御礼にとハラル(イスラム法上で食べることが許されている食材)認定のサンマの加工品を贈ることになりました。映画「サンマとカタール」関東地区上映の封切り前夜に、プロデューサーの益田さんが様々なエピソードを語ります。(主催：神田雑学大学)

■日時：5月6日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：無料

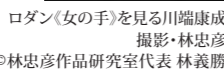


5/9 (月) 展示会への入口講座Vol.19 東京ステーションギャラリー×日比谷図書文化館 川端康成と美術 コレクションを手がかりに

講師：富田 章 (東京ステーションギャラリー館長)

川端康成は美術品収集家としても知られている。そのコレクションは、縄文時代の土偶から、近世、近代の絵画・彫刻・工芸・書、さらには現代アートに至るまで、非常に幅広い領域にわたっている。川端の作品には美術品がしばしば登場するが、川端は美術に対して、どのような姿勢で対峙していたのだろうか。またそれは、美術コレクションとどんな関連があるのだろうか。川端康成と美術について、実際の作品画像を紹介しながら、考えてみたい。

■日時：5月9日(月) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名
■参加費：1000円(千代田区民500円)



ロダン《女の手》を見る川端康成 撮影・林忠彦 ©林忠彦作品研究室代表 林義勝

5/14 (土) なぜ台湾ブックデザインが面白いのか? — 若手デザイナーの台頭が著しい 台湾グラフィックデザインの最新事情をまるっと語ります。

講師：藤崎 圭一郎 (デザイン ジャーナリスト)、林 唯哲 (グラフィックデザイナー)

聶永真、王志弘、小子などが注目され、いま活況を呈している台湾のブックデザイン界。その最前線を現地取材して、『T5台湾書籍設計最前線』という本にまとめた編集者の藤崎圭一郎と、同書の表紙デザインとコーディネーションを担当した、グラフィックデザイナー林唯哲が、台湾ブックデザインの魅力について語ります。

■日時：5月14日(土) 14:00～15:30(13:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円



藤崎圭一郎 林唯哲

5/17 (火) 絵本カバーで作るエコバッグワークショップと 絵本の「出版流通」の話

講師：山口 堅太郎 (好学社)

レオ・レオニなど芸術性の高い絵本のカバー用紙を使い、エコバッグを制作するワークショップです。何故、絵本が関係しているのか、絵本の流通と共にお楽しみください。※大人向けの講座です。持ち物は不要です。(企画協力：好学社)

■日時：5月17日(火) 14:00～15:30(13:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：40名 ■参加費：500円



レオ・レオニ カバー エコバッグ

▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

5/18 (水) 『万葉集』における歌の「発見」 — 二十巻のテキストがあらしめたもの

講師：神野志 隆光 (東京大学名誉教授)

これまで『万葉集』とは、まず歌があり、それが集められ、構成されたものと考えられていました。しかし、『万葉集』が二十巻で構築したものが、歌の世界をあらしめたのです。自分たちの固有の歌はそこではじめて見出されたという視点から、『万葉集』を全体としてとらえることに向かいます。

■日時：5月18日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：1000円



5/21 (土) ピースビレッジ第42回 新たな時代の家族のカタチ

講師：野田 武志 (ピースガーデン主宰)

「家庭を築く」ということにおいて求められる意味や価値観が、高度成長期の時代と今とは大きく変わってきています。親の責任、父母の役割分担、教育内容、ワークライフバランスなどを考えながら、これからの「家族のカタチ」について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。(主催：NPO法人世界連邦21世紀フォーラム)

■日時：5月21日(土) 14:00～16:30(13:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：3000円



5/24 (火) 人を育て、勝つための組織づくり(全3回) 第1回 7人制ラグビーの魅力

講師：吉田 義人 (7人制ラグビー監督)、吉井 妙子 (ジャーナリスト)

過酷なスポーツの世界で数々の栄光をつかんできた名将から、選手の力を発揮するための指導法や強いチームづくりについて学ぶ全3回講座。第1回は実業団、大学共にトップチームに引き上げた名監督が、リオ五輪出場が決定した7人制ラグビーの魅力に対談形式で語ります。(主催：公益財団法人上廣倫理財団)

■日時：5月24日(火) 18:30～20:00(18:00開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：500円(千代田区民及び学生は無料)
※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

<第2回予告>
6月13日(月)ソフトボールの母として
講師：宇津木 妙子(NPO法人ソフトボール・ドリーム理事長)(4月25日申込受付開始)
<第3回予告>
7月28日(木)闘う心を緩めない
講師：吉原 知子(プロバレーボール監督)(5月20日申込受付開始)



吉田義人

5/25 (水) 江戸歴史講座 第39回 江戸時代の村と百姓の実像

講師：渡辺 尚志 (一橋大学大学院社会学研究科教授)

江戸時代について語られるとき、百姓が主人公になることはめったにありません。しかし、江戸時代の人口の約八割は百姓であり、彼らが深いところで社会を支え、歴史を動かしていたのです。この講座では、村に生きた百姓たちの主体的・能動的な実像についてお話します。

■日時：5月25日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：1000円(千代田区民 500円)



「四季耕作図屏風」部分 長谷川雪旦 佐賀県立博

5/26 (木) 星とふれあう・惑星

講師：皆川 敏春 (星のソムリエ® みたか) 小幡 真希 (星のソムリエ® みたか)

遠い昔、人々は星座の間を不規則に動き回る星を神々に見立て、特別な存在と考えていました。惑星と呼ばれるこれらの星は、今では数学的な計算によって動きや質量を知ることができます。この5月に地球に最接近する火星を始め、神話の時代から現代に至るまで、惑星の世界について学びます。

■日時：5月26日(木) 19:00～21:00(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員：60名 ■参加費：1000円



惑星のハーモニー

5/30 (月) 日本プレスセンターが眺めた 日比谷と報道の世界40年 [講演+見学会]

講師：春原 昭彦 (上智大学名誉教授)

今年設立40周年の日本プレスセンターは、日本の報道機関の拠点として報道界を見守ってきました。その設立の経緯や役割、新聞を中心とした報道界の動きを、日比谷との関わりを交え、創設に携わった講師がお話します。講演終了後、日本プレスセンターを見学します。(協力：株式会社日本プレスセンター)

■日時：5月30日(月) 講演：14:00～15:30(13:30開場) 見学会：講演会終了後、移動。17:00現地解散 ※事前申込制、定員になりしだい受付終了となります。 ※講演会のみ参加申込も可能です。 ※見学会のみ参加、講座当日の見学会参加申込みは出来ません。
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円



6/1 (水) 世界の音楽 ブラジルの音楽、人、文化 — 未完の大国、ブラジルの姿を知る(全2回) 第1回 移民の国ブラジルの大衆音楽の歴史を紐解く

講師：ケベル 木村 (音楽ライター)

今年ハリオ・デ・ジャネイロでオリンピックが開催され、2022年によく建国200年を迎える未完の大国ブラジル。その豊かで多様な音楽を通じて、ブラジル固有の混血文化を知ろうという試みです。たくさんの音楽や映像を楽しみながら学びましょう。

■日時：6月1日(水) 19:00～21:00(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：2000円(全2回分)

<第2回予告>
6月15日(水) 19:00～21:00
第2回 混血文化に息づく各地方特有の音楽の成立ち



コルコバードのキリスト像

6/2 (木) シェイクスピア没後400年記念 『ハムレット』を音読する — 名作を正しく理解するために

講師：河合 祥一郎 (東京大学大学院総合文化研究科教授)

シェイクスピア没後400年を記念して、代表作『ハムレット』の名ゼリフを読みながら、作品の神髄に迫ります。弱強五歩格(アイアンピック・ペンタミター)の説明は、英語の童謡、マザーグースを用いてわかりやすく行います。作品の魅力を音で楽しみください。

■日時：6月2日(木) 19:00～20:30(18:30より受付)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名 ■参加費：1000円



6/5 (日) 演劇への入口講座 第6回 演劇界のレジェンド『放浪記』を手がけて — お堀端に咲く東宝演劇 —

講師：北村 文典 (演出家)

昭和から平成にかけて、半世紀以上にわたり人々に愛され続けてきた『放浪記』。この『放浪記』を始めとして、山田五十鈴、杉村春子、森光子らによる数々の名作を手がけた演出家・北村文典氏より、演出家の立場から見る演劇の世界、そして日比谷の地と演劇との関わりについてお話いただきます。(協力：東宝株式会社)

■日時：6月5日(日) 14:00～15:30(13:30より受付)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：200名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)

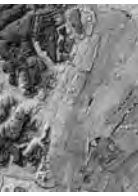


6/8 (水) 地形図で感じる 東京地形のヒミツ

講師：塚田 野野子 (株式会社東京地図研究社 代表取締役社長) 佐藤 慧 (株式会社東京地図研究社 企画開発室)

地形ブームの先駆けとも言える凸凹地形図を出版した地形専門企業が、その製作の背景や地形表現についてお話しします。東京及び千代田区とその周辺の地形、歴史、インフラ、災害の視点を入れた地図の見方・楽しみ方を、実際に地図を手に取りながら学べます。

■日時：6月8日(水) 19:00～20:45(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円



『地形のヒミツが見えてくる 体感!東京凸凹地図』より

6/11 (水) こどもの読書週間in千代田区立図書館「ヨムキクちよだ2016」関連講座 子どもを育てる「読み聞かせ」 — ビジネスパーソンのための実践ワークショップ

講師：児玉 ひろ美 (JPIC読書アドバイザー)

どんな本を選んだらよいかわからない、抑揚はつけた方がいいの?・・・など絵本の読み聞かせで困ったことはありませんか?子どもの発達に合わせた選書や読み方など、実践を交えながら楽しく解決しましょう。

■日時：5月11日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：無料



～千代田区立図書館の取組みから～
●5/1(日) 第8回ことばと音のフェスティバル!親子で楽しむ!はじめてのジャズ(千代田区役所1階区民ホール)
●4/23(土)・5/14(土) 読み聞かせ講座(初級) — おはなしを届けよう — (四番町図書館ラウンジ) ※詳しくは千代田図書館のホームページをご覧ください。

特別研究室 ミニ通信

特別研究室企画展示 『開国五十年史』にみる明治日本の国づくり自己評価 — 総論・政治・経済編 —

▶6月19日(日)まで開催中

特別研究室所蔵の大隈重信撰『開国五十年史』の中から、政治・経済・外交等に関する章の内容と執筆者の事跡を紹介しています。あわせて、『開国五十年史』を読むにあたり参考になる本も展示中です。

展示関連講座

6/2 (木) 古書で紐解く近現代史セミナー 第20回 大隈重信撰『開国五十年史』編纂の意義について

講師：鶴飼 政志 (早稲田大学・学習院大学・駒澤大学講師)

明治維新时期を中心に日本近代史を研究する講師が、大隈重信が撰じた書物『開国五十年史』の編纂目的とその意義についてお話します。

■日時：6月2日(木) 19:00～20:30(18:30より受付)
■会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)



大隈重信 『日本百科大辞典』第一巻(三省堂/1908年)より

◆ボモータ広報室より◆
誰もが知っているシンデレラ物語。前向きで夢を実現させるその姿は、世界中の女性の憧れとなりました。今回4/23(土)から始まる特別展「一かわたまなおコレクション — シンデレラの世界展～アメリカに渡ったシンデレラ・ストーリー～」では絵本の美しい世界だけではなく、19～20世紀アメリカの時代背景も感じられることでしょう。今春、日比谷図書文化館から夢の世界をお届けします。